

令和8年度 国語科 第1学年 指導・評価計画

学期	題材名	教材名	評価の観点			評価規準	主な評価方法	主な評価基準 (おおむね満足できる B)
			知識技能	思考判断表現	態度			
1		朝のリレー	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 音声の働きや仕組みについて、理解を深め、小学校での学習を生かして音読している。 	授業観察 定期考査 発表 漢字小テスト ワーク等の 内容 授業課題	<ul style="list-style-type: none"> 音声の働きや仕組みについて理解を深め、小学校での学習を生かして音読できる。
	言葉に出会うために	野原はうたう	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。 	授業観察 定期考査 発表 漢字小テスト ワーク等の 内容 授業課題	<ul style="list-style-type: none"> 音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読できる。
	1学びを開く	はじまりの風	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、図などを使って、心情の変化を整理している。 場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている 場面の展開や心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって着目した表現や心情の変化について話し合おうとしている。 	授業観察 定期考査 発表 漢字小テスト ワーク等の 内容 授業課題	<ul style="list-style-type: none"> 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合うことができる。
	2新しい視点で	ダイコンは大きな根？	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 身近な「野菜」について書かれた文章に関心をもち、段落ごとの内容をまとめようとしている。 問題提起の段落や、根拠を述べている段落など、段落の役割の違いに気づき、筆者の工夫を理解している。 段落の役割を考える際に、文と文、段落と段落を接続する語句に着目している。 	授業観察 定期考査 発表 漢字小テスト ワーク等の 内容 授業課題	<ul style="list-style-type: none"> 身近な「野菜」について書かれた文章に関心をもち、段落ごとの内容をまとめることができる。 問題提起の段落や、根拠を述べている段落など、段落の役割の違いに気づき、筆者の工夫を理解できる。 段落の役割を考える際に、文と文、段落と段落を接続する語句に着目できる。
		ちょっと立ち止まって	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 図を使って説明された文章に興味をもち、文章と図を対応させて読もうとしている。 文章と図の関連や段落の効果を捉えて、内容を理解している。 	授業観察 定期考査 発表 漢字小テスト ワーク等の 内容 授業課題	<ul style="list-style-type: none"> 図を使って説明された文章に興味をもち、文章と図を対応させて読むことできる。 文章と図の関連や段落の効果を捉えて、内容を理解できる。 指示する語句が表す部分を適切に読み取ることができる。

3 言葉 に立ち 止まる					<ul style="list-style-type: none"> 指示する語句が表す部分を適切に読み取っている。 		
	空の詩	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 詩の形や表現の特徴に着目しながら朗読している。 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 	授業観察 定期考査 発表 漢字小テスト ワーク等の 内容 授業課題	<ul style="list-style-type: none"> 詩の形や表現の特徴に着目しながら朗読できる。 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。 根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。
	比喩で広がる言葉の世界	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 比喩などの表現の技法を理解し使っている。 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。 	授業観察 定期考査 発表 漢字小テスト ワーク等の 内容 授業課題	<ul style="list-style-type: none"> 比喩などの表現の技法を理解し使うことができる。 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。
作文	行事後の作文 読書感想文	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 自分の体験をもとに内容をまとめている。 文体や表現を考え工夫している。 原稿用紙の使い方に沿って書いている。 	作品	<ul style="list-style-type: none"> 自分の体験をもとに内容をまとめることができる。 文体や表現を考え工夫できる。 原稿用紙の使い方に沿って書くことができる。
書写	楷書 「天地」 仮名文字	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 字形を整えて書こうとしている。 基本的な点画に注意して書こうとしている。 美しく書こうとしている。 	授業観察 作品	<ul style="list-style-type: none"> 字形を整えて書くことができる。 基本的な点画に注意して書くことができる。 美しく書くことを意識できる。

2	4 心の動き	大人になれなかった弟たちに 星の花が降るころに	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 人物の体験から、時代や状況、自分を見つめていくことの大切さを考える。 展開に即して、人物のおかれていた状況やどのような人間関係の中で生きていたのかを読み取る。 文脈の中における語句の意味を理解し、文と文との接続関係を考える。 	授業観察 定期考査 発表 漢字小テスト ワーク等の 内容 授業課題	<ul style="list-style-type: none"> 人物の体験から、時代や状況、自分を見つめていくことの大切さを考えることができる。 展開に即して、人物のおかれた状況やどのような人間関係の中で生きていたのかを読み取ることができる。 文脈の中における語句の意味を理解し、文と文との接続関係を考えることができる。
2	5 道筋を立てて	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ 大阿蘇	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 文章の要旨を捉え、自分の考えを広げようとしている。 具体的な根拠を挙げて、自分の考えを書いている。 	授業観察 定期考査 発表 漢字小テスト ワーク等の 内容 授業課題	<ul style="list-style-type: none"> 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。 文章の要旨を捉え、自分の考えを広げることができる。 具体的な根拠を挙げて、自分の考え（共感・納得、疑問・反論）を書くことができる。
			○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 詩の朗読を聞いて、それぞれの言葉がどのように使われているかを考えている。 進んで言葉の響きやリズムを味わい、語感を磨きながら、今までの学習を生かして詩を味わおうとしている。 	授業観察 定期考査 発表 漢字小テスト ワーク等の 内容 授業課題	<ul style="list-style-type: none"> 詩の朗読を聞いて、それぞれの言葉がどのように使われているかを考えることができる。 進んで言葉の響きやリズムを味わい、語感を磨きながら、今までの学習を生かして詩を味わうことができる。
	6 いにしへの心にふれる	蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 古典の文章を、興味関心をもって繰り返し音読しようとしている。 現代の文章とは異なる表現や表記に注意して物語の展開を捉えている。 仮名遣いに注意し、古典特有のリズムを味わいながら音読している。 	授業観察 定期考査 発表 漢字小テスト ワーク等の 内容 授業課題	<ul style="list-style-type: none"> 古典の文章を、興味関心をもって繰り返し音読しようすることができる。 現代の文章とは異なる表現や表記に注意して物語の展開を捉えることができる。 仮名遣いに注意し、古典特有のリズムを味わいながら音読できる。

		今に生きる言葉	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。 書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 		<ul style="list-style-type: none"> 音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものに行うことができる。 書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。
	7 価値を見出す	「不便」の価値を見つめ直す	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 文章の要旨を捉え、自分の考えを広げようとしている。 筆者の主張を要約し、それに対する自分の考えを書いている。 	授業観察 定期考査 漢字小テスト 発表 ワーク等の 内容 授業課題	<ul style="list-style-type: none"> 文章の要旨を捉え、自分の考えを広げようとするすることができる。 筆者の主張を要約し、それに対する自分の考え（共感・納得、疑問・反論）を書ける。
	作文	行事後の作文	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 自分の体験をもとに内容をまとめている。 文体や表現を考え工夫している。 原稿用紙の使い方に沿って書いている。 	作品	<ul style="list-style-type: none"> 自分の体験をもとに内容をまとめることができる。 文体や表現を考え工夫できる。 原稿用紙の使い方に沿って書くことができる。
	書写	行書 「緑」 「大木」 「日光」 書き初め 日常に役立つ書式（はがき）	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 楷書と行書の違いを理解して書こうとする。 筆順の変化を理解して、行書を書こうとしている。 美しく書こうとしている。 	授業観察 作品	<ul style="list-style-type: none"> 楷書と行書の違いを理解して書くことができる。 筆順の変化を理解して、行書を書くことができる。 美しく書くことを意識できる。
3	8 自分を見つめる	少年の日の思い出	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 作品を読み、情景や登場人物の気持ちに関心を向けようとしている。 場面展開や人物の描写に注意しながら読み、登場人物の心情の移り変わりを捉え、人物のものの見方や考え方について、自分なりに考えている。 	授業観察 定期考査 漢字小テスト 発表 ワーク等の 内容 授業課題	<ul style="list-style-type: none"> 作品を読み、情景や登場人物の気持ちに関心を向けることができる。 場面展開や人物の描写に注意しながら読み、登場人物の心情の移り変わりを捉え、人物のものの見方や考え方について、自分なりに考えることができる。
		二十歳になった日	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 心情を表す語句や表現に着目し、感じたことを言語化している。 文章の構成や展開、表現の効果について考え 	授業観察 定期考査 漢字小テスト 発表 ワーク等の	<ul style="list-style-type: none"> 心情を表す語句や表現に着目し、感じたことを言語化できている。 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確に

					<p>ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 進んで心情を表す表現とその効果について考え、学習したことを生かして筆者のものの見方を捉え、随筆を読み味わおうとしている。 	<p>内容 授業課題</p>	<p>きている。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 進んで心情を表す表現とその効果について考え、学習したことを生かして筆者のものの見方を捉え、随筆を読み味わうことができている。
	ぼくがここに	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> • 詩に用いられている表現の技法を理解している。 • 表現や表現技法に着目して読み深めたことを基に、作者の思いを想像し、考えている。 • 積極的に詩を読み味わい、考えを深め、学習課題に沿って、考えたことを伝えている。 	<p>授業観察 定期考査 漢字小テスト 発表 ワーク等の 内容 授業課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 詩に用いられている表現の技法を理解できている。 • 表現や表現技法に着目して読み深めたことを基に、作者の思いを想像し、考えることができている。 • 積極的に詩を読み味わい、考えを深め、学習課題に沿って、考えたことを伝え合うことができている。
作文	行事後の作文	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> • 自分の体験をもとに内容をまとめている。 • 文体や表現を考え工夫している。 • 原稿用紙の使い方に沿って書いている。 	<p>作品</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 自分の体験をもとに内容をまとめることができる。 • 文体や表現を考え工夫できる。 • 原稿用紙の使い方に沿って書くことができる。